

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和5年度第2回就職・産業振興部会 議事要旨

開催日時：令和5年10月30日（月）15：00～16：40

開催方法：香川大学幸町北キャンパス

法人本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

出席機関：香川大学 山神 眞一、香川県 佐々木 宏樹、香川県 芳重 博光、
香川県 岡村 武典、徳島文理大学 横山 賢治、香川短期大学 齊藤
栄嗣、高松短期大学 蓮井 明博、香川県商工会議所連合会 神原 知
江、香川県商工会連合会 松園 和夫、香川県中小企業団体中央会 朝
國 和樹、香川経済同友会 國村 一郎、香川県中小企業家同友会 伊
井 達哉（代理）、香川県農業協同組合中央会 大村 康夫、香川県漁
業協同組合連合会 橋本 明子、香川県銀行協会 松田 秀司、高松市
山下 洋司（代理）

議題事項

1. 令和5年度取組み進捗状況について

令和5年度の就職・産業振興部会における取組状況について、各担当から説明を行った。

【委員による補足、意見等】

○学生の就職選定の実態把握

- ・企業向けアンケート調査の対象業者数を教えて欲しい。（香川県商工会連合会 松園委員）

⇒・先週、調査会社（帝国データバンク、東京商工リサーチ）に見積依頼をしたところである。予算も限られているため、調査会社からの見積書を見て対象業者数を検討したいと思う。また、業種別の対象業者数については、可能な限り香川県の産業構造に即したものとなるようにしたいと考えている。（香川県労働政策課 岡村委員）

○かがわーくフェア

- ・大学生の参加者を増加させるために、8月に開催していた「かがわーくフェア」を4月に実施することとしたが、大学からの参加者数はあまり増えなかった。4月開催で良いのか意見をいただきたいのと、大学に対しては引き続き学生への参加の勧奨をお願いしたい。

現時点では、来年度についても4月開催で検討しているところである。（香川県商工会議所連合会 神原委員）

⇒・キャリア支援センターを通して学生の参加を呼び掛けているのだが、参加者数の増加は難しい。（香川短期大学 齊藤委員）

- ・学生に声掛けをするのだが、学生には響かないという状況である。就職情報会社と連携して、就職セミナーやガイダンスをゼミ単位で実施しているところであり、学生目線では各団体が様々なイベントを実施していることになっている。イベントの選択と集中が必要なのではないかと思う。（高松短期大学 蓮井委員）

- ・時期は4月の開催で良いと思っていたのだが、その時期には就職が決まっている又は就職中であるためイベントに参加できないという学生が多いように思われる。3月・4月に動いている学生は、就職が決まっている又は就職中であり、動かない学生は9月・10月から就職活動を始める感じである。（徳島文理大学 横山委員）

- ・4月には就職が決まっている又は選考の途中となっている学生が多いように思われる。エントリーも絞っているように思われる。本学で開催するガイダンスの参加学生数も年々減少しており、苦慮しているところである。（香川大学キャリア支援課 圖子課長）

○業種別オンライン県内企業見学ツアー

- ・どの学年を対象としているのか。(香川県中小企業団体中央会 朝國委員)
⇒・主に3年生を対象としている。メタバースを利用したオンライン県内企業見学ツアー(目的:キャリア教育、対象学年:1・2年生)とは、目的や対象学年は異なる。(香川大学キャリア支援課 圖子課長)

○メタバースを利用したオンライン県内企業見学ツアー

- ・「業種別オンライン県内企業見学ツアー」と実施時期(夏季休暇期間)が競合してしまっているので、授業として実施するのであれば実施時期を見直してみてもどうか。7月中か8月頭に開催して、その後の自由見学期間に担当教員が学生を引率して見学できるようにしてみてもどうかと思う。(高松短期大学 蓮井委員)
⇒・「メタバースを利用したオンライン県内企業見学ツアー」の実施が決まった時期が遅かったので、学生を集めるのが難しいだろうということで、集中講義のコマを使って実施することとした。いただいた意見を参考にして、来年度の開催について検討したい。(香川大学キャリア支援センター 原副センター長)

○うどん県の自治体で働こう大懇談会

- ・昨年度は2部制だったものを1部制に変更した。それにより空きブースができてしまったため、自治体から改善の要望があった。今年度は1週早く実施したので、来年度は元の時期に戻して実施したいと考えている。(香川大学キャリア支援課 圖子課長)

○キャリア支援研修会

- ・今年度の取組みとして、企業から講師を招聘して、企業目線での就職活動について研修を実施した。1回目はリモート、2回目は対面とリモートのハイブリットでどちらも土曜日に実施していたが、学生の参加者数が少なかったため、今回は平日の夕方に開催した。学生の確保が今後の課題であるが、大学で独自に実施しているキャリア研修会との棲み分けや「キャリア支援研修会」といった名称等について検討したいと思う。なお、研修の内容としては、企業目線を強めていければと思う。(香川短期大学 齊藤委員)

○インタビューシップ

- ・インタビューシップを実施した三木高校の生徒に対するアンケートでは、県外進学希望者28名のうち22名(県外進学希望者のうち78.6%)の生徒が、「県内に帰ってきてもいいと考えるようになった」と回答し、46名(アンケート回答者のうち80.7%)の生徒が働くことに対してのイメージが「良くなった」と回答し、38名(アンケート回答者のうち66.7%)の生徒が「自信をもてるようになった」と回答しており、学校としても、本会としても大きな成果があったと考えている。また、山形大学の松坂先生と協力して企業側へのアンケートを実施し、研究しようとしているところである。他の学校への拡大はしたいが、協力していただける企業数が足りていない状態なので、積極的に広げていくことは、今は控えている。(香川県中小企業家同友会 伊井主任)
- ・夏休みや冬休みでは、本格的なインターンシップが始まってしまうので、そこを外して授業で取り扱うのが良いと考えている。高松大学の学生10名程度(主に2年生)を対象としたインタビューシップを実施したいと考えているところであり、香川県中小企業家同友会と調整中である。(高松短期大学 蓮井委員)

○高校、大学等のイベントへのブース設置

- ・香川大学祭において「食べよう・学ぼうさぬきの農畜水産物 by JA&JF」というイベント名で実施した。JA では鶏のから揚げを、JF ではチヌ団子を 500 人の来場者に提供できるように準備した。農畜水産物やその生産に関わる団体の魅力や農業・漁業を取り巻く情勢を知ってもらうためのパネルやディスプレイなどを準備したが、年配の方などには見ていただけたが、学生にはあまり見ていただけなかったという印象。
(香川県農業協同組合中央会 大村委員)

- ・香川県でも海苔の養殖をしているということを知らない人がいたので、そこを説明できたのは成果だと考えている。課題としては、食材の提供がメインになってしまい、説明を聞く人が少なかったこと、どういう仕事をしているのかということを説明できなかったのが、今後の課題だと考えている。
(香川県漁業協同組合連合会 橋本委員)

2. 今後取り組む事業について

12 月に第 3 回就職・産業振興部会の開催を予定している。後日調査票を送付するため、P9～P11 で回答していただいた各団体で独自に取り組んでいる事業について、PF 主催・共催・後援として対応できるものを回答していただきたい。

また、P13～P14 には、今年度の事業を再掲しているが、担当している団体で意見交換をしていただいて、次年度はどのようにするのか回答していただきたい。

P15～P16 については、令和 6 年度以降に取組みたい事業を回答していただいたので、他の団体との連携可能性などを検討していただきたいと思う。

(香川大学 山神部会長)

3. その他事項

なし

報告事項

1. 産学官共創チャレンジ支援補助金実施報告 (②若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」(中小企業団体中央会))

- ・女子生徒の参加が低かったが、IT 系やデザインの会社を含めていれば女子生徒の参加も増えたのではないかと思います。各学校に学生参加の依頼に行ったが、進路指導の先生により対応が様々で、進学校の対応は難しかった。
- ・QR コードを読み込むようにしたが、教室に貼っておいても、学生がスマートフォンを持ち込めなかったりして効果がないように思うので、学校単位で申し込んでいただけると良いのではないかと思います。
- ・過去に開催した際には、3 月の高校入試の時期に実施していたが、補助金要件の関係で 8 月に実施せざるを得なくなったので、3 月にできるようになればありがたい。また、高松大学の先生は連携先として、謝金が補助金の対象外となっていたが、今後は認められると良いと感じた。

2. 地域活性化部会 就職活動の状況等に関するワーキング

今年度は、定性的な調査として、学生等を対象とするインタビュー調査を実施し、昨年度実施したアンケート調査の結果と合わせて、産学官の各団体で構成する WG で意見交換を実施した。香川県地域活力推進課担当者より、資料 4 に沿って説明が行われた。

その他

①県内から県内大学に進学し、県内企業に就職した方②県外から県内大学に進学し、県内企業に就職した方とターゲットを分けたインタビュー調査の実施について検討したいと思う。これにより県内企業への就職に当たりどのような点が重要なのかということ調べることであればと思う。(香川大学 山神部会長)